

建 築 学 課 程

人材養成の目的

建築学は「学術」「技術」「芸術」を三位一体として成立し、歴史を通じてその時代の最先端技術を駆使し、未来に向けて建築や都市を創造することにより文明・文化の発展に大きく貢献してきた学問です。建築学科では、最新の科学に基盤をおいた工学・学術知識の基礎的素養に加え、複数の条件下における柔軟かつ自由な発想、思考、創造力および具体的な「もの」や「しくみ」を作り上げる企画力・指導力を兼ね備え社会に貢献できる人材の養成を目的としています。

学習目標

本学科では、次のような能力の修得を学習目標としています。

- ・ 建築学に関する研究・創作・技術開発に必要とされる理工系基礎学力と論理的思考力、基礎理論を中心とした自己修習力
- ・ 新分野への研究・技術開発の展開の礎となる幅広く豊かな専門的教養および高い倫理観
- ・ 複数の条件下において各分野の技術を駆使し質の高い建築・都市の設計、まちづくりの計画ができる、柔軟かつ自由な発想力、思考力、創造力、表現力
- ・ 社会と自然を正しく理解し、最新の工学・学術的知見を利用して未来の建築技術の創造に挑戦する構想力および研究・技術開発能力
- ・ 他者の意見を尊重し、国内外を問わず自分の意見を論理的に表現できるコミュニケーション能力と指導力

学習内容

本学科では、上記の能力を身に付けるため、次のような特徴を有する学習を行います。

A) 幅広い理工系基礎学問と技術者倫理

専門学習の基礎となる数学、物理学、化学等の理工系基礎学力の学習、実験・演習を介した基本理論の実践的学習および技術者倫理学習

B) 建築学の基礎理論

建築学の基礎理論の根幹をなす建築史、建築意匠、建築計画、建築材料構法、建築構造力学、建築環境・設備および建築生産、建築法規等の建築学基礎の学習、および実験・演習・実習を介したそれら基礎理論の実践的学習

C) 豊かな空間認識能力と発想、思考、創造力の醸成を目的とした創造性学習

空間認識の基礎となる図学関連科目、および空間創造力・表現力を醸成するための設計製図科目、造形科目学習

D) 建築学の先進理論

建築計画学、建築構造工学、建築材料工学、地震・耐震工学、建築環境・設備工学等に関する先端建築学の学習、および実験・演習を介したそれら先進理論の実践的学習

E) 先進的建築設計

優れた感性と確かな論理、最新かつ普遍的な工学に裏打ちされた建築デザインを、さまざまな条件の中より生み出し、それを高い質で表現できる能力を醸成するための実践的学習

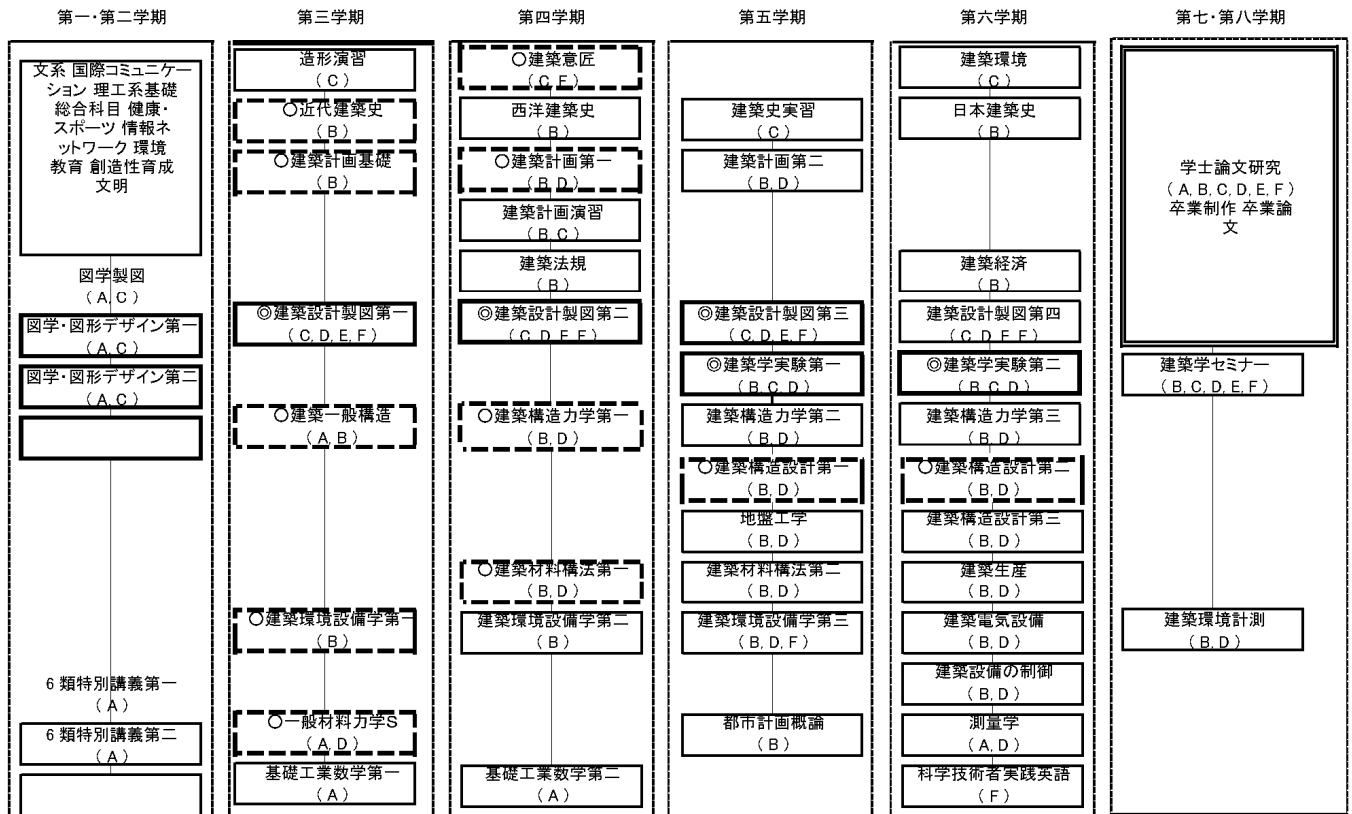
F) コミュニケーション力

他者の意見を尊重し、国内外を問わず自分の意見を論理的に表現し、人をまとめることのできるコミュニケーション力と指導力の涵養

授業科目

建築学課程の標準授業科目は、履修図および付表に示す通りです。

標準科目履修図



A 幅広い理工系基礎学問と技術者倫理 B 建築学の基礎理論 C 豊かな空間認識能力と発想、思考、創造力の醸成を目的とした創造性学習 D 建築学の先進理論 E 先進的建築設計 F コミュニケーション力
◎必修 ○選択必修 注. 図学・図形デザイン第一、第二と図学製図は学士論文研究申請までに取得する必要がある

[履修計画]

- (1) 第 1, 第 2 学期の履修計画：建築学課程を履修しようとするものは、第 1, 第 2 学期中に図学・図形デザイン第一、第二および図学製図、計 5 単位を取得することが望ましい。
- (2) 第 3, 第 4 学期の履修計画：建築学全般にわたる学習を行い、建築学の基礎を修得するために、付表の第 3, 第 4 学期に示す科目のそれぞれの学期に履修することが望ましい。
- (3) 第 5, 第 6 学期の履修計画：第 3, 第 4 学期につづいて、建築学全般およびやや専門化した学習を行うために、付表の第 5, 第 6 学期に示す科目をそれぞれの学期に履修することが望ましい。
- (3) 第 7, 第 8 学期の履修計画：卒業研究を行うと共に、専門化した学習を行うために、広く関連する科目を選択し、自主的に履修計画を作成することが望ましい。

学士論文研究申請要件

上記の教育内容を履修し、本学科の学士論文研究を申請するためには、つぎの要件を満たす必要があります。

- (1) 図学・図形デザイン第一、第二および図学製図計 5 単位。
- (2) 付表に示す科目から◎印 6 単位以上、○印 20 単位以上、を含め計 50 単位以上。
- (3) 上記(1), (2)を含め総修得単位数が 103 単位以上。

卒業要件

上記の教育内容を履修し、本学科を卒業するためには、つぎの要件を満たす必要があります。

- (1) 付表中の科目のうち、◎印の 9 単位全て、○印 23 単位以上を含め、59 単位以上取得していること。
- (2) 卒業設計、卒業論文を含む学士論文研究 8 単位を取得していること。
- (3) 上記(1), (2)を含め 124 単位以上。

付 表

第 1 学 期			第 2 学 期		
Fゼ	6 類特別講義第一	2-0-0	Fゼ	6 類特別講義第二	2-0-0
第 3 学 期			第 4 学 期		
基専	◎建築設計製図第一	0-0-2	基専	◎建築設計製図第二	0-0-2
基専	○近代建築史	2-0-0	基専	○建築意匠	1-1-0
基専	○建築一般構造	2-0-0	基専	○建築計画第一	2-0-0
基専	○建築計画基礎	2-0-0	基専	○建築構造力学第一	2-1-0
基専	○建築環境設備学第一	2-0-0	基専	○建築材料構法第一	2-0-0
理広	°○一般材料力学S	2-0-0	基専	西洋建築史	2-0-0
理広	造形演習	0-1-1	基専	建築計画演習	0-2-0
理広	°基礎工業数学第一	2-0-0	基専	**建築環境	1-0-0
			基専	建築環境設備学第二	2-0-0
			理広	建築法規	1-0-0
			理広	°基礎工業数学第二	2-0-0
第 5 学 期			第 6 学 期		
Lゼ	◎建築設計製図第三	0-0-3	基専	◎建築学実験第二	0-0-1
基専	◎建築学実験第一	0-0-1	基専	○建築構造設計第二	2-1-0
基専	○建築構造設計第一	2-1-0	Lゼ	建築設計製図第四	0-0-3
基専	建築史実習	0-0-1	基専	日本建築史	2-0-0
基専	建築計画第二	1-1-0	基専	建築生産	2-0-0
基専	建築材料構法第二	2-0-0	基専	建築電気設備	1-0-0
基専	建築環境設備学第三	2-0-0	基専	建築設備の制御	1-0-0
基専	建築構造力学第二	2-1-0	基専	建築構造力学第三	2-0-0
基専	地盤工学	2-0-0	基専	建築構造設計第三	2-0-0
理広	*°都市計画概論	2-0-0	理広	***建築経済	1-0-0
			理広	°測量学	2-0-0
			理広	°科学技術者実践英語	1-0-0
第 7 学 期					
基専	建築環境計測	1-0-1			
Lゼ	建築学セミナー	1-1-0			

但し、*は、3または5学期を標準とする。

**は、4または6学期を標準とする。

***は、4, 6, 8学期を標準とする。

°印は他学科で開設している授業科目。

その他

- (1) 国際コミュニケーション科目Ⅰ・Ⅱ，理工系基礎科目および健康・スポーツ科目の履修単位については，それぞれ学士論文研究申請資格および卒業に必要な単位数として，14単位，16単位，5単位の計35単位を総取得単位数として数えますが，それ以上取得しても学士論文研究申請に必要な103単位，および卒業に必要な単位数124単位に含めることはできません。
- (2) 国際コミュニケーションⅠ「英語5，英語6 又は英語7」の単位認定のための本学科における合格基準点は，550点（TOEIC試験の点数）です。なお，卒業までにTOEIC試験700点（本学科の目標点）相当以上の英語能力を身に付けることが望まれます。